



中央大学高等学校

CHUO

University High School 2027

未来への誓い

私たちは、試練を乗り越えてきた先輩から、決して諦めない心を学びました。
そして後輩へ、
新たな挑戦をし続け、何事にもくじけない心を伝えます。
今、世界はかつて経験をしたことのない困難に直面し、
大きな苦しみにあえいでいます。
私たち自らが灯となって世界を照らし、
輝かしい未来を築く先駆けとなることを誓います。



【 PLEDGE FOR OUR FUTURE 】

*We have succeeded with our never-say-die attitude. Our past graduates have overcome many obstacles.
They would like to pass on their unbreakable spirit to future graduates, to help them deal with the
challenges they will face throughout their lives.
Currently our planet is facing unheard-of difficulties.
People are suffering from a wide variety of problems.
We now vow to set an example and be a guiding light that illuminates the world.
We will take the lead in creating a peaceful society for future generations.*



中央大学高等学校校長
中央大学理工学部教授

高倉 樹

中央大学高等学校は、昭和3年（1928年）に設立された、中央大学の附属4校の中で最も古い歴史を有する学校です。中央大学の学風である「質実剛健」の精神と「家族的情味」のある環境の中で教育を実践することを目指としています。「質実剛健」の精神とは、物事に誠実に真正面から取り組み、困難にひるむことなく考え行動する姿勢のことです。そして、本校における「家族的情味」のある環境とは、生徒一人一人の顔が見える関わりを通じて、生徒・教職員・保護者が互いに理解と協調を深め、全人的な成長を目指す環境のことです。

生徒の皆さんには、3年間の高校生活を通して幅広い視野を養い、心豊かに日々を過ごしてもらいたいと思います。そして皆さんそれぞれが、自身の可能性を大きく広げ、人間として大きく成長することを願っています。

日本そして世界が目まぐるしく変化していく中で、若い世代の皆さんには、他人を思いやる心を持ち、教養と知性を備えた国際人であることが求められています。中央大学高等学校では、「質実剛健」と「家族的情味」を柱として、生徒全員がそのような素養を身に付けられるように環境を整えてまいります。

自分を育てる、世界を拓く。



教育目標

EDUCATIONAL GOAL

「質実剛健」と「家族的情味」が育むもの

『質実剛健』とは、時流に流されず、忍耐強く、自らを磨いていくこと。『家族的情味』とは、一人ひとりの顔が見える親身な教育を通じて、教師と生徒、保護者を加えた三者が親しみと信頼関係を築くという意味が込められています。これら2つの理念のもと、生徒の個性を健やかに伸ばすとともに、卒業後の飛躍へ向けた基本的な力を育んでいきます。

「自立」と「自律」のこころを育む

『自立』とは、親や他人に依存することなく、自分のことは自分でおこなう心のこと。そして『自律』とは、物事の正邪をしっかりと見極めて、自分の行動を正しい方向へと導く心のことです。私たちは、日々の勉強、部活動、委員会活動などの集団活動や各種行事を通じて生徒の社会性を陶冶し、本当の『自立』と『自律』に導くことをめざします。

高い志を実現する「真」のリーダーを育成

『真』のリーダーとは、情報を知恵に昇華できる「学力」、人を惹きつける「徳力」、身体・精神双方の意味を含んだ「体力」の3つの力を備えた人物のことです。生徒たちにはそのような魅力のある人物になってもらいたいです。そのためには日々自覚を促しながら、毎日の生活を丁寧生きることで、徐々にその力を身に付けさせていきたいと考えています。

沿革

本校は昭和3年（1928年）に中央大学最初の附属校である「中央大学商業学校」として創立されました。当初は商業科のみの夜間定時制の学校として開校されましたが、平成5年（1993年）、昼間定時制に改め、現在の姿へと変遷をとげました。

質実剛健・家族的情味——本校では、中央大学の学風として今に受け継がれるこの二つの理念を体現する落ち着いた友愛に溢れる環境の中で、生徒の個性を健やかに伸ばすと共に、卒業後の飛躍へ向けた基本的な力を育んでいきます。

令和10年（2028年）に創立100周年を迎えるにあたり、普遍的な教育理念に磨きをかけ、更なる発展をめざします。



本校は令和10年（2028年）、創立100周年を迎えます。



中央大学 高等学校 の教育

EDUCATION AT
CHUO UNIVERSITY
HIGH SCHOOL

将来を見据え、長い目で生涯の成長を支える

高校・大学の7年間をひとつのまとまりと捉えています。これを前提とした場合、大人と子供の中間的な存在である高校生の段階では、将来、社会の構成員として有為な人物・信頼されるリーダーとなるための「基礎的資質と素養」をしっかりと身につけることが重要です。そのためにも、長い目で生徒の成長を支える学校でありたいと考えています。

良識ある大人の基準による常識を伝える、生徒指導・生活指導

挨拶の励行、校則（生徒心得）を理解し、守ることのできる姿勢の獲得と同時に、クラス活動・課外活動・各種行事を通じた人間関係構築の機会を作り、その努力を応援します。また、他者の話に耳を傾け、理解しようとする気持ちや、相手を認める心（寛容の気持ち）の大切さを伝えます。それらを励行できる体制と雰囲気は本校にはあります。

「知識」と「探究」

附属校であれ、受験校であれ、「知識」の獲得と「探究」の姿勢が求められることは「あたりまえ」のことです。本校では、受験に捉われない附属校であることから、詰め込み型の「知識」の習得ではなく、「探究」の授業にも対応できる基礎学力の育成を目指しています。また、比較的小規模であるという特長を活かして、小テスト・宿題・課題などのきめ細かなチェックを行い、読書・新聞・レポート・発表などを通じて自ら学ぶ・考える・自分の意見を発信できる能力と姿勢を伸ばしていきます。

英語力に関しては大学入学後を見据え、卒業までに4技能を意識して英検®2級*取得を目指し「O」時限に特講を開いています。取得後は、準1級あるいはTEAP（スコア型）の受験を推奨しています。

※中央大学に推薦されるためには、現行における英検®2級の資格を有していることが必須となります（ただし、相応の事情があり、その資格を取得できない場合は、校長がその資格に相当する学力を有すると認めた者）。

在校生メッセージ



Y・A

3年生 生徒会長
足立区立谷中学校出身

生徒のやる気を喚起し、自律心につなげていく校風

中大高で育まれるのは自律心です。生徒会活動をはじめ、あらゆる場面・活動において自主性を尊重し、企画や運営を“自由”に任せてくれます。自由とは、責任を持って行動すること。そのためには人の意見を聞く必要もありますが、中大高生はしっかりと意見を言い、耳も傾けてくれる。だからみんなの意見も反映しようと頑張れる。そんな“透明性のある国会”のような校風がやる気を喚起し、自律心を育むのだと思うのです。

STUDENTS'
VIEW POINT

「質実剛健」の精神と「家族的情味」の環境の中で
生きる力に溢れた広く社会に寄与できる人物を育てる。



学習指導

TEACHING POLICY

一人ひとりに寄り添う学習指導

大学附属であり、小規模である学校の利点を活かし、一人ひとりを見守りながら学習指導を実施しています。本校には中央大学への進学希望者のみならず、他大学への進学を目指す生徒もいますが、いずれの場合でも必要な基礎学力の定着を図りながら、苦手科目のある生徒には基礎から補強し、力のある生徒にはより上を目指す環境を整えています。

「昼間定時制」の利点を活かす

施設上の理由から「昼間定時制」をとっているため、始業時間は全日制の学校より遅く、朝は9時15分までに入室します（授業終了時間は15時50分）。そのため、余裕を持って通学することができます。3年間で高等学校の全課程を終了し、進学に向けた勉強や課外活動などは全日制と変わりません。

多様な進路希望に応える学力の養成

1・2年次は大学進学および進学後の学びをより伸長させるための「基礎」に重点を置きます。そのうえで2年次より、興味・関心、意欲の高い生徒を対象にした自由選択科目を「0時限」として実施。3年次からは文系・理系、中大推薦希望・他大学受験希望など、進路に合わせた科目選択や各種講座を通して、各自の進学に必要な能力を養います。

在校生メッセージ



K・T

3年生 生徒会副会長
板橋区立志村第四中学校出身

学ぶ姿勢と、ゼロから答えを導き出す力を育てる

授業は理解しやすいのですが、テストになるとレベルが上がって応用的なものになる…というのが日頃の学びのイメージです。そこには生徒に自主的に勉強させたいという意図があると思うのです。授業での学びを生徒同志で話し合わせるのもそのひとつ。3年次の、自分で研究テーマを決め調べて発表する『社会研究』という学びも、自ら学ぶ姿勢とゼロから答えを導き出す力を育てる中大高らしい教育だと思います。

STUDENTS'
VIEW POINT

着実な基礎学力の上に、
応用力・実践力を積み重ねていく、堅実な学習指導。



教育課程

CURRICULUM

中央大学の学生に求められる学力の習得を前提に、1・2年次は、全科目を主要科目と位置づけた基礎力重視の授業を展開。3年次は、希望する進路に応じて文系（3クラス）・理系（1クラス）にわかれ、自ら考える力を養う課題探究型の授業を展開していきます。

※2026年度のもの。2027年4月改正（一部）予定です。

1年生 自覚を持つ（基本重視の共通科目）

教員と生徒が心を通わせ合える家族的な校風のなかで日々楽しく学びながら、高校生としての自覚を持ち、今後の学びの礎となる基礎学力を身につけます。

必修単位数	選択単位数
32	2

必修科目				自由選択科目	
国語	現代の国語	2	言語文化	2	
地理歴史	地理総合	2			
公民	公共	2			
数学	数学Ⅰ	3	数学A	2	
理科	科学と人間生活	2			
保健体育	体育	2	保健	1	
芸術	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ	2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	論理・表現Ⅰ	2	英検特講(2級) 1 英検特講(準1) 1
	英会話Ⅰ	1			
家庭	家庭基礎	2			
情報	情報Ⅰ	2			
	総合的な探究の時間	1	※芸術は、「美術Ⅰ」「音楽Ⅰ」「書道Ⅰ」の中から1科目を選択。		
特別活動	ホームルーム	1			

2年生 将来を考える（基本重視の共通科目＋自由選択科目）

基礎学力に「応用力」を積み重ねるため、数学の習熟度別授業を実施します。第二外国語や特別講座なども開講し、自分の興味・関心、適性を探します。

必修単位数	選択単位数
32	5

必修科目				自由選択科目	
国語	論理国語	2	古典基礎	2	
地理歴史	歴史総合	2			
公民	政治・経済	2			
数学	数学Ⅱ	4	数学B	2	数学特講 1
理科	化学基礎	2	物理基礎/生物基礎	3	
保健体育	体育	2	保健	1	
	英語コミュニケーションⅡ	4	論理・表現Ⅱ	2	第二外国語 2 英検特講(2級) 1 英検特講(準1) 1
外国語	英会話Ⅱ	1			
	総合的な探究の時間	2			
特別活動	ホームルーム	1			

※理科については、「物理基礎」「生物基礎」より1科目を選択。

3年生(文系) 文系大学への進学（「文系」の選択）

中大推薦希望・他大学受験希望など、進路希望に適した科目を選択。演習やレポート作成なども加えて、それぞれの進路実現に必要な能力を養います。

必修単位数	選択単位数
30	7

文系 必修科目				自由選択科目	
国語	論理国語	2	文学国語	4	国語特講 1
	古典発展	3			
地理歴史	日本史探究/世界史探究	4			
	日本史演習*	2	世界史演習*	2	
公民					公民特講 1 数学特講 1 理科特講 1
数学	文系数学	2			
理科					
保健体育	体育	3			
	英語コミュニケーションⅢ	4	論理・表現Ⅲ	2	第二外国語 2 英検特講(準1) 1
外国語	実践英語*	2			
社会研究	社会研究*	4			
	総合的な探究の時間	1			
特別活動	ホームルーム	1			

※「日本史探究」「世界史探究」についてはどちらか1科目を選択。

※「社会研究」を選択、または「日本史演習」「世界史演習」どちらか1科目と「実践英語」を選択。

3年生(理系) 理系大学への進学（「理系」の選択）

中大推薦希望・他大学受験希望など、進路希望に適した科目を選択。理工学部と連携した体験実験を行うなど大学進学に必要な能力を養います。

必修単位数	選択単位数
30	7

理系 必修科目				自由選択科目	
国語	論理国語	2		国語特講	1
地理歴史					
公民				公民特講	1
数学	数学Ⅲ	5	数学C	3	数学特講 1 理科特講 1
理科	化学	4	物理/生物	5	
保健体育	体育	3			
	英語コミュニケーションⅢ	4	論理・表現Ⅲ	2	第二外国語 2 英検特講(準1) 1
外国語					
	総合的な探究の時間	1			
特別活動	ホームルーム	1			

※「物理」と「生物」については、理系の生徒を対象とし、2年次に「物理基礎」を履修したものは「物理」、「生物基礎」を履修したものは「生物」を選択する。

特色ある学習

EXTRA PROGRAMS

キャリア講座(2年次希望者)

「志」ある人物の育成のため、身の回りにある「課題」を発見し、解決方法を提示するプログラムを実践しています。6名程で構成されるグループそれぞれに、企業・研究機構有志の方がメンターとしてつき、様々な助言を頂きます。成果は全校生徒の前で発表します。さらに振り返りの会を通じて、今後のキャリア形成につなげていきます。

本講座の理論と実践をまとめた本が出版されました。『未来を生き抜く力を育むキャリア教育』（学事出版）



総合学習講座

各界の第一人者を講師に迎え、お話を伺います。社会と第一線で向き合う方たちの言葉を聴いて未知の世界への目を開き、将来を考えるきっかけとします。また、総合的な視野と幅広い教養を得ることで今後の可能性を広げていくことが目的です。



近年の総合学習講座一覧

世界銀行上級対外関係担当官	大森功一氏 「グローバルな開発課題と世界銀行の役割」
株式会社サイフーズ代表取締役	秋枝静香氏 「再生医療が切り拓く新たな世界ー細胞から希望をつくる!Teamサイフーズの挑戦ー」
リテラシーラボ代表	千葉偉才也(いざや)氏 「多様な価値観は社会を豊かにするー若者たちの声が必要な理由ー」
株式会社UPQ代表取締役	中澤優子氏 「ものづくりの世界」
スパーガイド	崎原真弓氏 「琉球の先人達の生き様から学ぶ肝心(チムグル)」

その他の連携教育

中央大学経理研究所が実施する簿記検定講座を受講できます。日商簿記検定試験の3級、2級合格を目指します。

進路指導
進学実績

POST-GRADUATION

母校から広い世界へ

“広く社会に貢献し、新しい時代を築く「真」のリーダーをめざすために” “目まぐるしく変わっていく時代の本質を捉え、他者から必要とされる人物となるために” そんな高い志を芽吹かせ、育て、大きく花開かせるためのあらゆる支援を、力惜しむことなく尽くしていく。それが本校のつとめです。

本校において、進学指導とは生徒たちの人生を切り拓くための羅針盤。大学進学、そしてその先の夢を一人ひとりの生徒が実現できるよう指導を行います。

附属の高校として多くの生徒が中央大学へ進学できますが、本校では生徒個々の適性や可能性にも目を向け、他大学受験も視野に入れた進学希望にも柔軟に対応しています。

放課後には、本校卒業生（令和8年度は東京理科大1名）の協力を得てチューター制度を設けるなど、生徒たちが気軽に質問・相談できる環境も整えています。

合格大学一覧（数字は延べ人数、 3月17日現在）

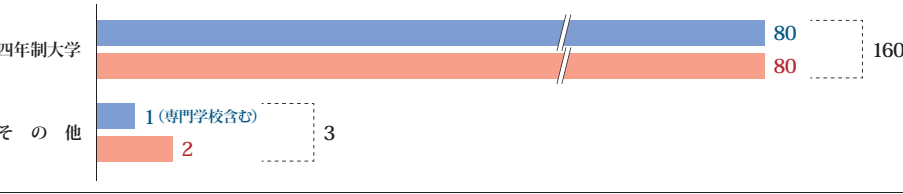
四年制大学（50音順）

国公立● 埼玉大学（教育学科 1）／電気通信大学（情報理工学域 2）／東北大学（理学部 1）

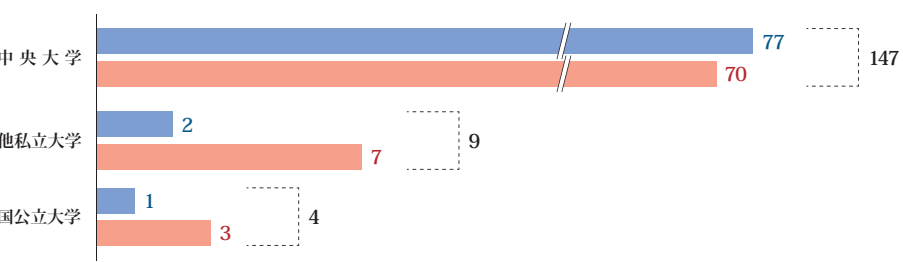
私 立● 青山学院大学（文学部 1、法学部 1、理工学部 1）／関西学院大学（社会学部 1）／
関西大学（外国語学科 1）／工学院大学（建築学部 1、先進工学部 1）／
駒澤大学（法学部 1）／上智大学（外国語学部 1、総合グローバル 1）／
成城大学（法学部 1）／中央大学（基幹理工学部 1）／
東海大学（工学部 1）／東京理科大学（工学部 1、先進工学部 1、薬学部 1、理学部 1）／
星薬科大学（薬学部 1）／武蔵野美術大学（建築部 1）／
明治大学（法学部 1、政治・経済学部 1）／立命館大学（文学部 1）

卒業生の進路状況

令和8年3月卒業生 163名（男子81名、女子82名）



四年制大学の内訳



卒業生からの
メッセージ

GRADUATES MESSAGE

様々な方面で活躍する卒業生

中大高で学び、大学、社会へと羽ばたいていった先輩たちが、たった一度しかない高校時代になにを学び、どんなことを考えながら「いま」と「将来」を見据えていたのか。勉強のこと、部活動のこと、先生たちとのこと、そして友だちのこと……。色々な思いをそれぞれに抱えながら過ごした「あの頃」を振り返ってもらいました。



M・K
関東学院大学 法学部 准教授
第60回生 平成20年3月卒業
（上智大学 法学部 地球環境法学科 卒業／世田谷区立奥沢中学校）
出会いとチャンスがあり、可能性を広げられる学校

小規模な附属校でアットホーム、ノビノビした雰囲気になれて進学しました。他大進学も後押ししてくれる気風で進路選択の幅が狭まらない点も魅力でした。工夫することの大切さも学べた部活動（女子バスケットボール部）と生徒会活動、そして勉強の両立は大変でしたが複数のことに挑戦しやり遂げる力が鍛えられました。中大高は人との出会いとチャンスが多く可能性を広げられる学校です。そのなかで目一杯、高校生活を楽しんでください。



H・Y
株式会社 小松製作所
第67回生 平成27年3月卒業
（中央大学 経済学部 国際経済学科卒業／流山市立八木中学校）
言葉を越えて伝える力をくれた中大高での経験

中大高では、体育祭で団長を務めたり、軟式野球部では仲間と練習を工夫するなど、主体的に行動する経験を重ねました。主将として人前で話すなど苦手なことにも向き合ったことが、今の私の土台になっています。こうした経験は、JICA海外協力隊でガーナに派遣された際にも大きく活かしました。言葉や文化の違いに戸惑いながらも、自分から相手に働きかけ、伝え方を工夫することで、信頼関係を築くことができました。どんな環境でも挑戦し続ける力は、中大高での経験から培われたものだと感じています。



A・H
東日本旅客鉄道株式会社
第70回生 平成30年3月卒業
（中央大学 総合政策学部 政策科学科卒業／印西市立西の原中学校）
雰囲気に惹かれた中大高での出会いは今も続いています

遠距離でも通学しやすい始業時間や雰囲気に惹かれた中大高は、先生方が一人ひとりを把握、フォローしてくださる学校で、穏やかな友人たちとは今なお『家族的情味』を実感できる間柄です。現在は新幹線の運転士をしており沢山のお客様にご利用いただけることやお客様の笑顔に日々やりがいを感じながら、将来は地方公共交通の発展に関わる事業に関与したいと思っています。皆さんも“今できる挑戦”をして将来の夢を中大高で見つけてください。



M・K
中央大学 法科大学院（第79期司法修習生）
第73回生 令和3年3月卒業
（中央大学 法学部卒業／千葉大学教育学部附属中学校）
不安だった私にくださった先生の言葉は、今も心に

真面目な校風で落ち着きがあり“将来めざすものが変わっても頑張れそう”と思い進学した中大高は個々をよく見てくれる学校でした。法学部に進学できるか不安だったとき、担任の先生の「あなたほど努力できる人は大丈夫」という言葉は今も心に残っています。物事がうまく進んでいるときは周りに感謝し、うまくいかなくても誰のせいにもしないようになれたのも努力の報われる環境だったからこそ。あの頃の経験は一生の財産です。

中央大学について CHUO UNIVERSITY



1885年、「英吉利法律学校」として創立されて以来、現在に至るまで「**實地應用ノ素ヲ養フ**」という建学の精神を受け継いでいます。中央大学は、10学部、大学院8研究科、専門職大学院2研究科、4附属高等学校、2附属中学校を擁する総合学園となった現在において、建学の精神は、多様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して「**行動する知性。－Knowledge into Action－**」を育むという本学のユニバーシティ・メッセージに受け継がれています。



多摩キャンパス



市ヶ谷田町キャンパス



後楽園キャンパス

学部学科・大学院研究科

法 学 部	法律学科／国際企業関係法学科／政治学科
経 済 学 部	経済学科(仮称)／社会経済学科(仮称) ※2027年4月開設予定(認可申請中)
商 学 部	経営学科／会計学科／国際マーケティング学科／金融学科
基 幹 理 工 学 部	数学科／物理学科／応用化学科／生命科学科
社 会 理 工 学 部	都市環境学科／ビジネスデータサイエンス学科／人間総合理工学科
先 進 理 工 学 部	精密機械工学科／電気電子情報通信工学科／情報工学科
文 学 部 人 文 社 会 学 科	国文学専攻／英語文学文化専攻／ドイツ語文学文化専攻／フランス語文学文化専攻／中国言語文化専攻／日本史学専攻／東洋史学専攻／西洋史学専攻／哲学専攻／社会学専攻／社会情報学専攻／教育学専攻／心理学専攻／学びのパスポートプログラム
総 合 政 策 学 部	政策科学科／国際政策文化学科
国 際 経 営 学 部	国際経営学科
国 際 情 報 学 部	国際情報学科
スポーツ情報学部(仮称)	スポーツ情報学科(仮称) ※2027年4月開設予定(認可申請中)
情 報 農 学 部(仮称)	情報農学科(仮称) ※2028年4月開設予定(設置構想中)
大 学 院	法学研究科／経済学研究科／商学研究科／理工学研究科／文学研究科／総合政策研究科／国際情報研究科／戦略経営研究科
専門職大学院	
ロースクール (法科大学院)	法科大学院は、裁判官、検察官、弁護士などの実務法曹を育成する機関で、「ロースクール」とも呼ばれる専門大学院です。
ビジネススクール	戦略経営研究科戦略経営専攻「ビジネススクール」は、高い倫理観と品性を備え、戦略的思考に基づいて業務を遂行できるプロフェッショナルを育成する大学院です。

專門職大学院

茗荷谷キャンパス(文京区)で新時代を切り拓く法学教育を展開

新キャンパスでは、これまでの法学教育に加え、法学部と法科大学院（ロースクール）の連携教育の強化や、後楽園キャンパス（理工学部）および市ヶ谷田町キャンパス（国際情報学部）とともに、3学部共同開講科目を設置し、社会科学系と理工学系の多方面から分析できる視点を養う教育を予定しています。また、卒業生のネットワークを活かし、社会の第一線で活躍する実務家を多数招いて、様々な角度から講義を積極的に展開していきます。



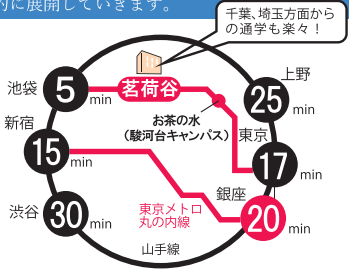
茗荷谷キャンパス



駿河台キャンパス



小石川キャンパス

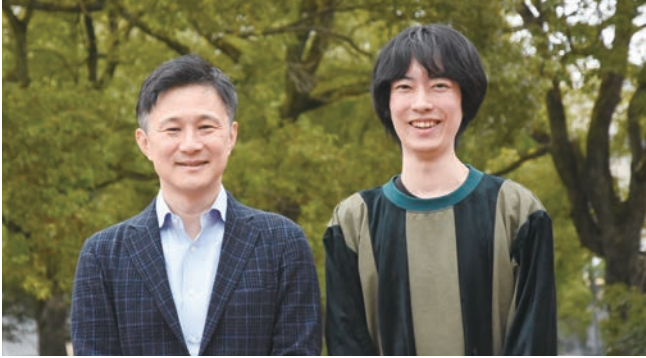


高大連携教育 COOPERATION BETWEEN HIGH SCHOOL AND UNIVERSITY

附属高生の利点 ゼミ生×教授

【経済学部】

科目等履修生制度により、経済学部講義「経済入門」を本校の教室においてオンラインで受講します。経済学部に進学した際は、申請により経済学部の卒業単位として認定されます。その他、特別講義の開講など様々な連携をしています。

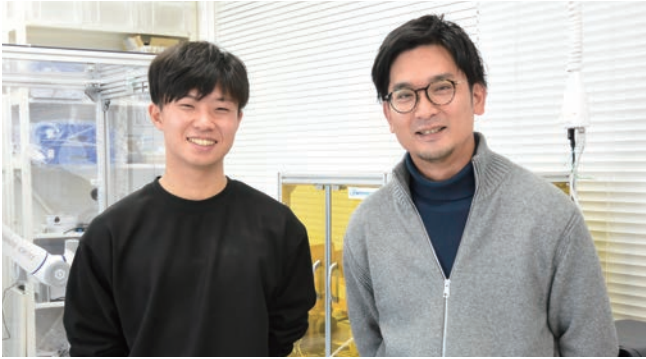


近廣 昌志 (写真左)
経済学部
准教授／博士（金融学）

S・O (写真右)
第76回生 令和6年3月卒業
中央大学 経済学部 国際経済学科 3年
江東区立大島西中学校

【理工学部】

同キャンパス内の理工学部とは、理系進学者を対象に年3回の特別講義と体験実験教室を開催。また数学科では科目等履修制度により高校からの単位履修が可能です。



S・H (写真左)

第74回生 令和4年3月卒業
中央大学 理工学部 精密機械工学科 卒業
中央大学大学院 理工学研究科 精密工学専攻1年
川口市立領家中学校 出身

奥井 学 (写真右)
先進理工学部 精密機械工学科
准教授／博士（工学）

近廣／ゼミでは「企業と金融」をテーマに「会計から世の中を見てみよう」という学びを展開しています。ゼミ生には国内外での宿宿などを通して、年1本研究内容を動画にまとめYouTubeで世界に配信し、学外の論文コンテストへの挑戦など、うちのゼミは忙しくも楽しい……かな（笑）……日々を送っていますが、ゼミ長でもあるOさんは“困った時はOさん”といえるキーパーソンです。そのOさんは私が中大高で行った『特別講義』がきっかけであったように、大学教員の研究内容や個性に触れることのできる高大連携はいい機会ですね。

S・O／もともと経済学部に興味はあったのですが近廣先生の講義の面白さが学部決定の決め手になり、ゼミも迷わず選びました。経済学部のよさはキャリア教育がしっかりしている部分にもあります。ゼミにおいては近廣先生が人とのつながりをとても大切にされていて、そういった機会を様々な場面で用意してくださるお陰で“ゼミだけで世界観やつながりがこんなに広がるのか”という印象です。今春（26年）、近廣ゼミと中大高のタイアップで勉強会を開催できたものそのひとつ。そういった将来につながる機会の多さも中大高の良さだと思います。

奥井／研究室のテーマは平たく言うと“ロボットを研究・開発して人の役に立てよう”というものです。ゼミを通じてアウトプットできる力とプレゼン能力を身につけることを学生には意識させていますが、Hさんはとても優秀。新しい試みにもどんどん挑戦し、提案もできる学生です。彼がそうであるように、環境を与えることで、いい意味で好き勝手に研究を進める資質、そしてコツコツ取り組む姿勢は中大高生に見られる傾向です。世界有数のエネルギーを持つ東京のど真ん中という最高のロケーションもいろんな刺激を与えてくれると思いますよ。

S・H／小さい頃からロボットに興味があり、中大高を選んだのも高大連携プログラムなどを通じて大学の内容に触れられる強みに惹かれたからです。実際、各学期に行われる大学の先生の講演を通して大学での学びを具体的にイメージできたのはとても有為でした。中大高は小テストや課題も多いので、自分で計画を立てて物事に取り組む力が養われたことも凄く役に立っています。皆さんにも大学受験にとらわれない附属校のメリットを活かして興味のある分野や学校行事などに積極的に参加・挑戦してほしいですね。自分の将来に必ず役立ちますから。

年間行事 ANNUAL EVENTS

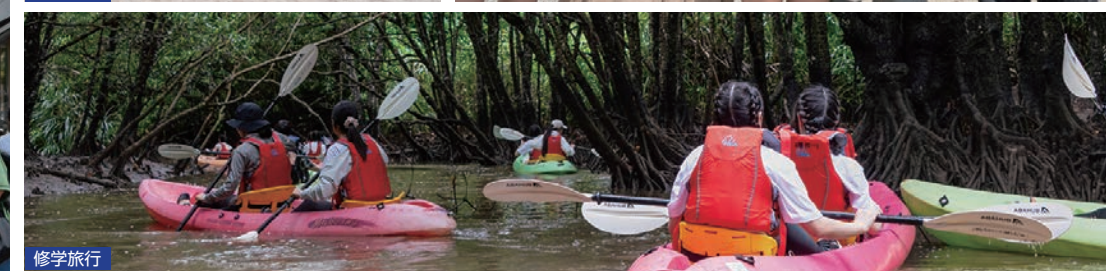
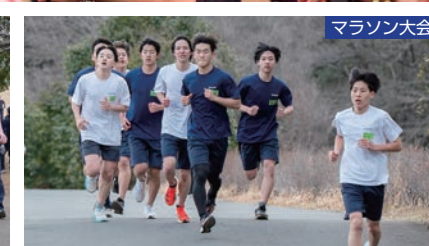
四季折々のさまざまな体験、はじめての取り組みに戸惑いながらもみんなと力を合わせた文化祭など、学校行事を通した仲間や先生たちとの交流は、どれも、将来を豊かにするための青春の礎です。

- 4 ● 入学式 ● オリエンテーション
● 新入生歓迎行事 ● 避難訓練
- 5 ● ホームルーム合宿(1・2年生)
● 修学旅行(3年生)
- 6 ● 英語検定 ● 漢字検定
● 芸術鑑賞教室

- 7 ● 創立記念日
- 8 ● 夏期講習
- 9 ● 防災訓練 ● 後楽祭
● 体育祭

- 10 ● 英語検定
- 11 ● 生徒総会 ● 総合学習講座
● 漢字検定
- 12 ● 補習習

- 1 ● 推薦入学試験 ● 英語検定
- 2 ● マラソン大会 ● 一般入学試験
● 漢字検定
- 3 ● 卒業式



クラブ活動 CLUB ACTIVITIES

10の運動部、9の文化部、そして生徒会、5つの委員会など、約9割の生徒が放課後の活動を行っています。
それぞれの部が練習の工夫などにより成果を上げ、バレーやバスケットなどのアリーナ系の部はもとより、グラウンドがない中でも野球やサッカーなどのクラブも活気づいています。

運動部



男子バスケットボール部

堅守速攻が部のスタイルです。試合の中で100%の力で最高のパフォーマンスを出せるよう、練習ではアップからすべてにおいて全力で取り組んでいます。



女子バスケットボール部

先輩・後輩に関係なく意見を出し合ってチームとしての方向性を出し、大会などでも自分の意見を遠慮なく言い合える雰囲気、私たち女バスの強みです。



剣道部

“打って反省、打たれて感謝”という言葉通り稽古や試合での気づきや反省を成長の糧にできるのが剣道の魅力、それを共有し高め合えるのが部の魅力です。



サッカー部

都大会進出と「新人戦で3勝」を目標に練習では個のテーマを明確にして技術を高め、試合でそれを実践、楽しく恐れずに相手に挑み勝利をめざします。



軟式野球部

投手中心にしたスモールベースボールで都の上位を狙っています。練習や試合で大事にしているのは元気な声出し。励まし合えるチーム作りをめざしています。



男子バレーボール部

初心者、経験者ともに“今、取り組むべきこと”を全員で共有、切磋琢磨して全員の力を高め合い、拾って、繋いで勝ちにつなげるバレーをめざしています。



バドミントン部（男子）

練習メニューは自分たちで考えるなど、中大高らしい自主性を前面にポジティブ要素満載の部活動を心がけています。明るく楽しくみんなでレベルアップ！



バドミントン部（女子）

大所帯ですがほとんど初心者。素振りや基礎打ち、フットワークといった基礎を大切に“全員で成長できたらいいね！”と思いながら、日々練習しています。



硬式テニス部（男子）

初心者が多い部ですが一人ひとり目標を持って練習しています。モットーは“明るく仲良く楽しい部活”。テニスそのものをみんなで一緒に楽しみましょう。



硬式テニス部（女子）

仲の良さが伝統であり強みです！ これからも雰囲気よさにこだわらながら部活の時間が待ち遠しくなるような部であり続けることが私たちの目標です。

文化部



茶道部

裏千家の先生をお招きしお点前を指導いただいています。日本の伝統文化である茶道を通して浴衣の着付けや生活に役立つ礼儀作法を学べるのも魅力です。



吹奏楽部

定期演奏会とコンクール、文化祭などで演奏を行っています。色々な音色を奏でる楽器が作り出す旋律やハーモニーで人々に笑顔を届ける素敵な演奏を！



合唱部

文化祭や中附との合同公演などで活動しています。曲は合唱曲やJ-POP、ゴスペルなど色々。作り手の想いのこもった楽曲をお客さんに届けられれば最高です！



文芸部

小説やエッセイ、短歌など好きなものを書いて冊子にまとめ年3回発行しています。自分の想いである作品を読んでもらえることは魅力であり、喜びです。



パソコン部

大会出場に向け『リーグ・オブ・レジェンド』に取り組むeスポーツ部門とCG制作を行うIT部門に分かれて活動中！ どちらも“まずは楽しむこと”が目標です。



書道部

各自が好きな書体で作品を出展する書道展、みんなで力を合わせて作品を作る文化祭パフォーマンスが主な活動です。個を磨きお互いを高め合える部です。



美術部

普段は個々でイラストやデジタルアートを作り、夏の合宿で描いた油絵を文化祭に出展しています。自由な雰囲気、作品作りに没頭できる部活動です。



演劇部

定期公演と文化祭が主な舞台。演劇を通じ“自分ではない人になる”のは難しくもあり楽しくもあります。人々や自分の色んな面を知ることができるのは魅力です。



軽音楽部

月イチで実施のライブをはじめ文化祭や合宿では即席バンドを組んで演奏します。楽器は完全希望制。演奏する側も聞く側も一体になれる演奏をめざしています。



生徒会

自主性があり責任感を持った人たちが多くて組織力が高いのが中大高生徒会の特長です。“目的地”は生徒みんなにとって居心地のいい学校作りです。

委員会



放送委員会

始業式や終業式などの式典でマイクの準備やステージの設営・設定、音響などを行います。裏方として式の大事な部分を支える縁の下の力持ちです。



図書委員会

広報と企画、図書だより『くすのき』を作る部に分かれて活動しています。現実とは違う世界に入ることができる本の魅力を私たちがお伝えします。



文化祭実行委員会

生徒主体の取り組みと柔軟な発想で彩られる文化祭を一から作り上げていくのが私たち。生徒みんなが、一人残らず楽しめる文化祭をみんなの手で！



修学旅行委員会

旅の行き先から行程まで生徒が主体となって“ゼロ”から考え、作り上げるのが中大高の修学旅行！ 思い出に深く残るような楽しい時間を演出します。



体育祭実行委員会

競技や種目、ルール作りからタイムテーブル、審判など関わる業務は多いけど、全員が盛り上がり楽しめる体育祭運営はやりがいがあります！

在校生のメッセージ STUDENT'S MESSAGE

在校生が語る中大高生活

「家族的情味」の言葉に示されるアット・ホームな雰囲気、そして附属校という利点を活かして、多くの生徒が受験勉強のみに捉われない高校生活を送り、部活動や委員会活動などに励んでいます。そんな生徒たちからみた中大高の様子と自身の成長などを語ってもらいました。



T・U

3年生／軽音楽部
大田区立矢口中学校出身

なにかを成し遂げるための環境が整った場所です

中大高に惹かれた理由のひとつが高大連携の学びでした。実際に、中央大での学びについて先取りできる機会や中大高から中央大に進んだ先輩方の話を聞ける取り組みもあるので進路設計のしやすい学校です。イメージと違ったのは生徒が「真面目で保守的」ではなく、取り組みに対してポジティブであることです。僕の所属している軽音楽部でも月イチでライブを行うなど、みんなが色んなことに前向きなです。3年間、将来を見すえてどう過ごすか。“やるも自由、やらないも自由”。なにかを“やる！”となったなら、それを後押ししてくれる。それが中大高です。



M・E

3年生／剣道部
川口市立安行中学校出身

ひと言でいうと、安心して学べて過ごせる学校です

中大高はひと言でいうと「安心して学べる学校」です。入学当初はみんなについていけるか心配だった勉強面では先生のサポートや、友だちと教え合ったりすることで頑張れていますし、部活動では部員個々のレベルに合った稽古ができています。3カ月ほどオーストラリアにターム留学したのですが単位もとれるので安心して留学することができました。進路は他大受験も視野に入れているのですが、その場合も中央大の推薦資格を持ったまま挑戦できるのもいいところ。学校の雰囲気も『家族的情味』の言葉通り、小規模校らしい団結力のある、過ごしやすい学校です。



E・K

2年生／サッカー部
文京区立第三中学校出身

自分の将来のために時間を使うことができる環境

通っていた中学がすぐ近くという縁もあって興味を持った中大高ですが、イメージと違ったのは体育系の部活動もしっかり練習して試合でも勝ちを狙える部が多いということです。附属校なので勉強面にはそんなに力を入れていないのかな…と思ったのですが、学びの質は高いです。キャンパスには大学生がいて研究室などもあるので高大連携の学びも楽しみですね。受験勉強に縛られないかわりに興味のあることに力を注げるのもいいところ。部活動や将来に向けた学びや趣味など自分の将来のために時間を使うことができるので、僕は今、中国語の勉強をしています。



H・K

2年生／合唱部、茶道部
江戸川区立清新第二中学校

自由で新しい体験が、視野を大きく広げてくれます

学校説明会に来たときに、在校生がイキイキと会を運営している姿とアットホームな雰囲気に魅力を感じ進学した中大高は、受験勉強に縛られないからか生徒の心に余裕を感じられる空気があって、生徒会や部活動など自分のやりたいことに全力で取り組める学校です。中央大に進んだ先輩方が来校してこれまでの道のりについてお話を聞かせてくださる機会もあるため、具体的に将来を考えられるのも附属校らしさ。そんな環境のもとで行う委員会活動や部活動、そして学校帰りの友だちとの遊びといった自由で新しい体験が、視野を大きく広げてくれています。

制服 SCHOOL UNIFORM

生徒の意見も採り入れてデザインされた制服。男女共、シャツ・セーター・ベストは2色から選択。女子はリボンとネクタイを好みに応じて選ぶことができ、替えスカートと夏用リボンも着用できます。ボタンは、家族的情味を象徴する「もみじ葵」をデザイン化したものを採用しました。

なお、スラックス・ポロシャツは男女共用とし、スラックスはシルエットが異なる2種類を用意しています。＊は任意のアイテムです。



standard

summer

polo shirt ＊



rucksack ＊

slacks ＊

spring / autumn

在校生メッセージ



Y・F

2年生 生徒会副会長
練馬区立開進第四中学校出身

“とにかく、やってみようよ！”という空気があります

“全員が顔見知りで、狭くて深い関係のほうが私に向いているかな”、それが中大高を選んだ理由でした。実際、中大高は一人ひとりの距離が近いです。委員会活動も部活動も、自分がやってみたいと思ったことを尊重し応援してくれる校風で、“とにかくやってみようよ！”という空気があるのです。だから最初の一步が踏み出しやすい。中学時代は慎ましい生活を送っていた私が生徒会で活動しているのも中大高だからこそ……なのです。

STUDENTS'
VIEW POINT

FREQUENTLY ASKED QUESTIONS ● よくある質問

Q. 昼間定時制と全日制の違いについて説明してください。

A. 全日制と定時制の違いは、学校設置基準によるものです。本校は昭和3年に夜間定時制高校として認可を受け（中央大学内に設置）、独自の校地・校舎を持たない状態のまま歴史を重ねてきました。昭和55年に現在の後楽園キャンパスへ移転して初めて独立した校舎を持ちましたが、グラウンドや体育館はないままでした。平成5年に教育課程を変更し、授業時間帯を昼間に移行して再出発しました。しかし、施設面では依然として全日制高校の設置基準を満たせていません。したがって、本校は設置基準によって定時制課程と分類されていますが、授業、特別活動などにおいては全日制と変わることはありません。また、部活動に関しては、すべて全日制の大会に参加しています。

Q. 学校説明会には毎回出た方がいいですか。

A. 1回はお越しになることをお願いしたいと思います。本校は大学キャンパス内にあり、一般的な高等学校の環境とはかなり違うことをご確認・ご理解いただくためです。ただし、参加回数による有利不利はありません。

Q. 中央大学へはどのくらい進学できますか。

A. 現在のところ約9割の生徒が進学しています。高校からの推薦順位は、学業成績・特別活動・出席・資格・実力テストの成績などを総合して算出されます。学業成績が基準に達していない場合には、推薦資格が得られませんので日常の予復習や授業への取り組み姿勢が大切です。また推薦されるためには、現行における英検®2級の資格を有していることが必須となります（ただし、相応の事情があり、その資格を取得できない場合は、校長がその資格に相当する学力を有すると認めた者）。

Q. 部活動、委員会活動について説明してください。

A. 約9割の生徒が所属して活動しています。高校生活を充実したものにするためには欠かせないものと考えていますが、活動場所や日数には制限があるため、郊外の施設を借用するなど工夫して活動しています。

Q. 始業時間、就業時間が遅いと聞きましたが……また土曜日の授業やカリキュラムについても説明してください。

A. 朝は、9時15分までに入室、その後ショートホームルーム（SHR）、授業。授業終了時間は15時50分、その後SHRと清掃。さらにクラブ活動などが後片付けを含めて18時45分まであって、最終下校時刻は19時です。また、0時限〔特別講座、自由選択科目、補講、補習〕は8時～9時に行われます。土曜日に関しては1、2年次は正課の授業を行っています。

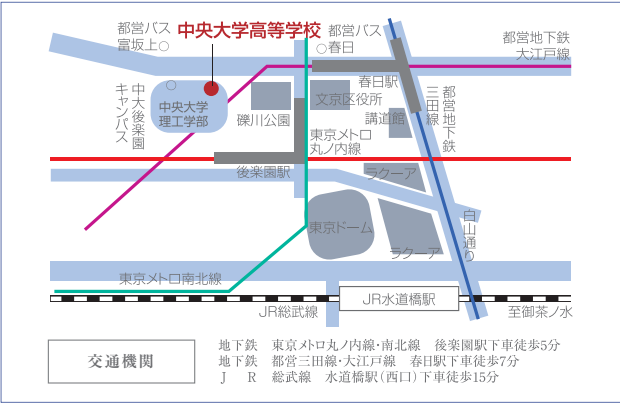
時程表					
月～金 ※土は1、2年のみ午前授業あり	0	時	限	8:00	～ 9:00
	S	H	R	9:15	～ 9:25
	1	時	限	9:25	～ 10:15
	2	時	限	10:25	～ 11:15
	3	時	限	11:25	～ 12:15
	4	時	限	12:25	～ 13:15
	昼	休	み	13:15	～ 14:00
	5	時	限	14:00	～ 14:50
	6	時	限	15:00	～ 15:50
	S	H	R	15:50	～ 16:00
	7	時	限	16:30	～ 17:20
	8	時	限	17:20	～ 18:10
	最	終	下	校	19:00

Q. 他大学併願制度について説明してください。

A. 中央大学への推薦を得た人が、その資格を留保したまま（入学金は必要）、国公立大学または中央大学にはない学部・学科（医・歯・薬・獣医・看護）を受験することができる制度です。しかし実際には、附属の高校で推薦資格を取るには全ての授業を誠実に学習することが必要なため〔全科目主義〕、受験勉強との両立には、しっかりとした進路に対する意識や目標に沿った努力と覚悟が必要です。

Q. 入学手続きに必要な費用はどれくらいですか。

A. 入学申込金300,000円、後援会入会申込金7,000円、生徒会入会申込金2,500円が必要となりますが、後援会入会申込金と生徒会入会申込金については、公立高校（東京、神奈川、千葉、埼玉）受験者は、手続きをすることによって公立高校合格発表日まで延納することができます。詳細は、2027年度生徒募集要項でご確認ください。



〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27
tel. 03-3814-5275
<https://www.cu-hs.chuo-u.ac.jp/>



ENTRANCE EXAM ● 2027年度(令和9年度)入学試験概要 EVENT SCHEDULE ● 公開行事

※詳細は必ず2027年度生徒募集要項をご確認ください。

	推薦入学試験	一般入学試験
募集人員	男子 25 名 女子 25 名	男女 70 名
Web出願入力開始日	12月21日(月)	12月21日(月)
出願書類受付期間	1月15日(金)まで※郵送必着	1月25日(月)～2月2日(火)※最終日郵送消印有効
試験日	1月22日(金)	2月11日(木・祝)
合格発表日(本校Webサイト)	1月22日(金) 22:00時頃	2月12日(金) 22:00時頃
入学手続き類交付日	1月23日(土) 10:00～11:00	2月13日(土) 10:00～11:00
入学手続期間	1月23日(土)～1月25日(月) 15:00	2月13日(土)～2月15日(月) 15:00
延納	なし	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の公立高校を併願し、本校所定の手続きをして許可された者について合格発表日まで納付金の一部延納を認めます。詳細は2027年度生徒募集要項にてご確認ください。
出願資格	1. 2027年3月中学校（海外の日本人学校を含む）を卒業見込みの者。 2. 本校を第一志望とし、人物に優れ、素行に問題がないこと。 3. 在学中中学校長の推薦を受けた者。 4. 欠席・遅刻・早退の合計が3年間で15未満であること。ただし、入院等の特別の事情がある場合は出願を認めることがある。 5. 3年次調査書評定の合計（必修9教科）が、5段階評定で3.7以上の者。 ※詳細は募集要項参照 6. 中学校3力年を通じて、評定の1・2がないこと。 ※1・2年次の学年末成績及び3年次調査書評定 7. 保護者のもとより通学可能な者。	1. 2027年3月中学校（海外の日本人学校を含む）を卒業見込みの者及び中学校卒業者。 2. 保護者のもとより通学可能な者。
出願書類	①推薦書(本校所定書式) ②調査書(本校所定書式) ③写真票 ④面接写真票	①調査書(本校所定書式) ②写真票 ③面接写真票
入学検定料	30,000 円	30,000 円
試験内容	面接試験： 個人面接約10分 基礎学力調査：国語・社会（合計60分） 数学・理科（合計60分） 英語（40分・リスニング含む） 配点：英(45)・国(40)・数(40)・理(35)・社(35)	面接試験：受験生6～7名のグループ面接 約10分 筆記試験：国語（50分）・数学（50分） 英語（60分・リスニング含む） 配点：国(100)・数(100)・英(100)
合否判定	面接試験での判定 調査書・基礎学力調査による総合判定	面接試験での判定 筆記試験・調査書による総合判定
備考	推薦入試を受験した一般入試受験生については、筆記試験（300点満点）の得点に対し10点をプラスする。	

学校説明会

● 7月19日(日) ● 8月26日(水) ● 10月11日(日)
● 12月13日(日)

場 所：本校および中央大学後楽園キャンパス 5号館

- ① 各回 14:00～15:30
- ② 全日予約制です。
- ③ 詳細は本校Webサイトをご覧ください。

後楽園(文化祭)

9月5日(土)・6日(日)
詳細は本校Webサイトでお知らせします(8月初旬掲載予定)。

「生徒会主催」学校説明会

11月14日(土) …………… 14:00[予約制]
詳細は本校Webサイトでお知らせします(9月下旬掲載予定)。